

令和5年度の論点整理を踏まえた議論の経過

令和7年4月

池田町学校部活動地域移行検討協議会

I 主な取り組み

OR6. 5月 第6回検討協議会

協議題 ①「IKEDA TRACK CLUB」 ②他町との合同部活動 ③アンケート結果

OR6. 9月 第7回検討協議会

協議題 ①「IKEDA TRACK CLUB」中間報告 ②関係団体との意見交換
③指導者確保の方策

OR6. 11月 第8回検討協議会

協議題 ①関係団体との意見交換 ②指導者バンクの募集

OR7. 2月 第9回検討協議会

協議題 ①「IKEDA TRACK CLUB」現状報告 ②指導者バンクの進捗
③令和6年度の議論経過(案) ④令和7年度予算

II 総論

- 1 少子化が急速に進行する中、学校部活動が担ってきた人間関係の構築や自己肯定感の涵養などの役割について、学校での部活動の運営・維持が困難となる前に、学校と地域が連携し、地域の実情に応じ子どもたちが継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる持続可能な環境づくりが求められています。
- 2 将来的にはすべての部活動の地域移行を目指すこととしますが、地域移行後の地域クラブ活動を担う指導者の確保は、池田町に限らず多くの市町村で大きな課題となっています。
- 3 指導者については、4月に実施した教職員アンケートにおいて、「平日・休日ともに部活動に関わりたい」とする回答が3人(全体の7.9%)にとどまるほか、7月から11月まで行われた各競技団体との意見交換でも、スポーツ少年団や関係団体から指導者を確保することは厳しい状況となっています。
- 4 指導者の確保が難しい状況を踏まえ、将来的な地域移行を見通して、まずは、学校部活動の指導に当たる「部活動指導員」を確保することも重要となっています。
- 5 指導者の確保に向けては、様々な方策を検討し把握する必要があるため、場合によっては他市町村との広域的な連携も視野に入れる必要があります。

Ⅲ 各論

1 国の実証事業（地域クラブ「IKEDA TRACK CLUB」）の検証

(1) 「IKEDA TRACK CLUB」の活動状況

- ①令和6年4月、陸上少年団を受け皿として地域クラブ活動「IKEDA TRACK CLUB」が設立されました。
- ②令和6年度は、中体連の大会を含め11回の各種大会に参加しています。
- ③指導者は3人（教員1・民間2）、活動日は月・水・金曜日で1時間当たり単価を定め指導実績に応じて報酬を支払っています。

(2) 課題

- ①現在の指導体制が将来的にも維持できるかが不透明です。
- ②大会役員等への保護者の参加が難しい状況にあります。
- ③大会登録や会計等で保護者の負担が大きくなっています。
- ④保護者負担を軽減するため、教育委員会（事務局）職員が、多くの大会で支援に当たっています。
- ⑤持続可能な活動とするためには、指導者の確保はもとより、地域クラブ活動の運営体制を確立することが急務となっています。
- ⑥陸上部のない他町からの受け入れについて、検討が必要です。

2 地域移行に向けた指導者の確保

(1) 現状

- ①人口の半分以上が60歳以上で高齢化が進んでいる本町において、地域に指導者を確保することは難しい状況です。
- ②40代・50代も活動の時間帯から指導当たることは難しく、役場職員のように勤務時間を変更することが可能な職種であっても、週に複数日の指導となれば対応が難しいことも想定されます。
- ③少年団を受け皿として学校部活動の地域移行を検討するに当たっては、少年団側の体制もあるため慎重な検討が必要です。
- ④関係団体との意見交換においていずれの団体も将来にわたって持続可能な活動体制（部活動の地域移行）の必要性については理解を示しているものの、地域移行後の地域クラブ活動の指導に当たることは難しい現状にあります。

(2) 指導者確保に向けた取組の方向性・・・別紙「指導者バンク」募集案内を参照

- ①町民及び役場職員に向けて、指導者の確保に向けた池田町「指導者バンク」設置を周知し、指導者の登録を行います。役場職員には町の制度であるボランティアタイム及び兼業申請を活用した指導者の確保を検討します。
- ②地域スポーツクラブのような体制が構築されることが理想ですが、現状におい

て、まずは、指導者バンクに登録していただける方によりスポーツや文化活動が継続的に行える体制とすることが現実的です。

- ③「指導者バンク」を活用し学校部活動を維持しながら、将来的に地域移行を進めていくことが望ましいと考えます。
- ④現在、実施されている他町との合同部活動についても、広域的な地域移行を検討することが必要です。

IV 今後に向けて

- 1 国の「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」における議論や財政支援等に留意しながらも、学校部活動の地域移行に不可欠な指導者の確保に向けた取組の強化を図ることが重要です。
- 2 持続可能な活動とするためには、将来にわたって維持できる地域クラブ活動の運営体制の検討が必要です。
- 3 アンケート調査では、美術の活動を希望する児童生徒が一定数いることから、「放課後子ども教室」や「放課後サロンエルム」との関連も含め指導者確保や実施体制の検討が必要です。
- 4 教職員の兼職兼業による指導者については、令和7年度に人事異動もあることから、改めて、教職員の意向の把握が必要です。
- 5 地域クラブ活動における保護者負担額については、受益者負担の観点も斟酌しながら、負担いただく費目の設定が必要です。
- 6 チームスポーツにおける合同部活動については、当面、必要な移動支援の継続が必要ですが、将来的には広域的な地域移行について関係町との検討を進めることが肝要です。